

令和5年度行政評価 施策評価シート (令和4年度実績)

施策名 少子化対策の推進

施策コード 5020104

1. 施策の担当	
主管課	こども部 子育て支援課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第2章 ひとを豊かに育むまちづくり (子育て・教育)	節 第1節 子ども・子育て
	施策	少子化対策の推進	

基本方針
若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりを推進します。

現況と課題
少子高齢化が進み、生涯未婚率も上昇する中、若い世代が結婚の希望を叶え、新生活に踏み出せる支援が必要です。

施策目標
対象 (誰を、何を、どこを)
若い世代

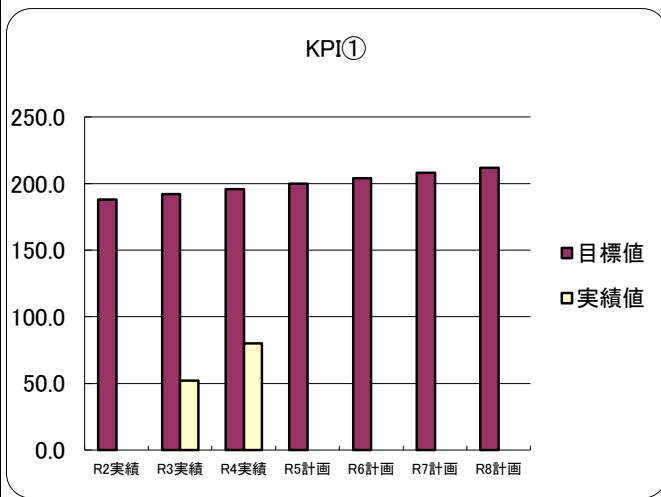
意図 (どのような状態にしたいのか)
若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境を目指して、施策を推進します。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)							
重要度 (偏差値)							

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	R3決算	R4決算				
	事業費	千円	4,062	3,983				
	フルコスト		9,326	14,023				
財源内訳	国庫支出金	千円	13,388	18,006				
	府支出金		3,150	5,925				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		10,238	12,081				
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	6,176	8,098						

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1 出会うの機会創出事業への参加者数							
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	188.0	192.0	196.0	200.0	204.0	208.0	212.0
実績値	0.0	52.0	80.0				
達成度		27.08	40.82				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
イベントへの参加者数により、結婚を希望する若い世代が、出会うの機会を得て、ライフデザインを考えるきっかけとなったことを計ります。		平成29年度の参加者数の実績値を基に、令和10年度までに40人程度の増加を見込み、令和元年度以降の増加を平均4人ずつと設定しました。		令和4年度は新型コロナウイルス感染症を予防しつつ事業を実施できる方法としてオンラインや小規模人数での開催となったため。			

図表



6. 施策の事後評価

一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	周辺市では実施しているところが少なく、積極的に取り組んでいる施策です。
施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	従来定員に対し申込率は高く、市民ニーズは高いと考えられます。	
施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	「こども未来戦略方針（令和5年6月13日閣議決定）」において、2030年までが少子化を反転させるラストチャンスであり、異次元の少子化対策を推進するとされています。	
合計点	(10点中) 6点		
総合評価	C	国の動向やアンケート等の対象者のニーズに即し、継続的な取り組みが必要です。	
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）	C	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価（理事者による評価）	C	引き続き目標値の達成に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業

	事務事業		R4年度決算額			R5年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01083254	出会うの機会創出事業	2,390	2,939	1,514	0	B
2	01083275	結婚新生活支援事業	1,593	11,084	6,584	0	B
合計			3,983	14,023	8,098	0	